第14講　【現代編】冷戦の終結と社会の変容
PART1 世界経済の再編

Chapter1　先進国の変化

目標
アメリカ経済があるできごとによりどうなっていったのか学ぼう。
西側諸国の経済に影響を与えた３地域の３カ国について知ろう。

1　アメリカ経済の変化

1960年代からアメリカ社会が抱えてきた多くの矛盾が噴出して多元化が進行。黒人や先住民などマイノリティの権利拡大運動が高まり，若年層を中心にベトナム反戦運動も盛り上がった。

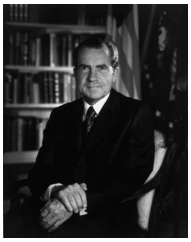
①**トルーマン大統領**（民主党）→広島・長崎に原爆投下
　フェアディール→ニューディール政策を継承
　※トルーマン＝ドクトリンなどにより対立が始まり，東西冷戦開始。朝鮮戦争にも国連軍として参戦。

②**アイゼンハワー大統領**（共和党）→日本と日米安保条約を改定
　軍産複合体の成長→核兵器開発競争
　※ソ連との平和共存策により「**雪どけ**」を現出。

③〔　　　　　　　　〕**大統領**（民主党）→キューバ危機回避後にテキサス州ダラスで暗殺
　ニューフロンティア政策と**アポロ計画**を中心とする宇宙開発競争
　※「国が何をしてくれるのかを問うのではなく，国のために自分が何をできるのかを問うべきだ」。

④**ジョンソン大統領**（民主党）→公民権運動と反戦平和運動の高揚
　「偉大な社会」計画
　※トンキン湾事件を口実に〔　　　　　　　　〕**戦争**を本格化させた。

⑤**ニクソン大統領**（共和党）→２つのニクソン＝ショック後にウォーターゲート事件で辞職
　〔　　　　〕＝**ショック**とスタグフレーション（不景気下の物価高）の進行
　※大統領補佐官はキッシンジャー。


ニクソン大統領

2　西欧経済の変化

①〔　　　　　　　　　〕

国際的地位の低下が続き，1973年にヨーロッパ共同体〔ＥＣ〕に加盟

②**フランス**

第五共和政の**ド＝ゴール大統領**の下で対米独自外交を展開。西ドイツとともにＥＣを主導し，ヨーロッパを米・ソに対抗しうる第三極にしようとした

③〔　　　　　　　　　〕→ヨーロッパ最大の経済大国に

アメリカ合衆国の支援の下で**アデナウアー首相**が奇跡的な復興を果たし，フランスとの関係修復にも尽力。1970年代前半には**ブラント首相**が「東方外交」を展開し，「**緊張緩和〔デタント〕**」を導いた

3　日本経済の変化

①**日本的経営**の確立

終身雇用制・年功序列型賃金・企業別労働組合による労資協調

②重化学工業を中心に**技術革新**と**設備投資**が進む

高度経済成長を果たし，大量消費社会が形成されていく過程で**公害問題**も発生

③〔　　　　　　　〕**高速自動車道**など大量高速輸送網の建設

都市の過密問題と農村の過疎問題も発生

④アメリカ合衆国などの要望に沿い**貿易・為替・資本の自由化**を行う

1960年代から貿易黒字が断続的に続き，70年代半ば以降は〔　　　　　　　　　〕**問題**が深刻化

貿易摩擦

まとめ
アメリカ経済はベトナム戦争の泥沼化により決定的に疲弊した。
アメリカ合衆国・西ドイツ・日本の３カ国が西側諸国の経済を牽引した。

Chapter2　途上国の変化

目標
戦後，独立を果たした発展途上国の大きな問題点が何か考えよう。
工業力により成長を果たした途上国・地域を何というだろう？

1　格差是正への取り組み

南半球を中心に，第二次世界大戦後，政治的には独立を達成したが，経済的自立は立ち遅れたままの**発展途上国〔開発途上国〕**が多かった。

※特定の一次産品に偏った〔　　　　　　　　　　　　　〕**経済**，前近代的な社会構造の残存など。

①**石油輸出国機構〔ＯＰＥＣ〕**（1960年）
②**国連貿易開発会議〔ＵＮＣＴＡＤ〕**（1964年）
　途上国側の要求により設立。フェアトレード〔公正貿易〕の姿勢や一般特恵関税などを求め，「援助より貿易を」というスローガンが生まれた
　※ 1968年の第２回総会では「援助も貿易も」に変化した。
③国連開発計画〔ＵＮＤＰ〕（1966年）
④**アラブ石油輸出国機構〔ＯＡＰＥＣ〕**（1968年）
⑤新国際経済秩序〔ＮＩＥＯ〕樹立に関する宣言（1974年）
　天然資源に対する恒久主権の主張である，資源ナショナリズムが台頭

ブラジルのコーヒー農園

2 経済成長国

途上国の中でも経済成長を果たす国はあるが，〔　　　　〕**独裁**の形式をとる場合が多い。

①**中南米ＮＩＥＳ〔新興工業経済地域〕**

メキシコ・ブラジルが輸入代替工業化を推進

②〔　　　　　　〕**ＮＩＥＳ〔新興工業経済地域〕**

〔　　　　〕**・台湾・香港・**〔　　　　　　　　　　　〕

が輸入代替から輸出志向工業化政策への転換に成功

③産油国

ＯＰＥＣ・ＯＡＰＥＣ加盟国が，**２度のオイル＝ショック〔石油危機〕**で存在感を増す

エンブラエル
（ブラジルの飛行機メーカー）

シンガポールの発展

まとめ

発展途上国は，戦後，政治的に独立を果たしても，経済的に先進国に依存している国が多い。

中南米・アジアにおいて工業力で成長を果たした国・地域はＮＩＥＳ〔新興工業経済地域〕と呼ばれた。

第14講 PART1 確認問題

1 広島・長崎に原爆を投下したアメリカ大統領はだれか。

① ジョンソン ② ケネディ
③ トルーマン ④ アイゼンハワー

2 アメリカのケネディ大統領と関連があるのはどれか。

① 宇宙開発競争 ② 核兵器開発競争
③ ドル＝ショック ④ 「偉大な社会」計画

3 ベトナム戦争を本格化させたアメリカ大統領はだれか。

① ニクソン ② ジョンソン
③ アイゼンハワー ④ ケネディ

4 アメリカの歴代大統領を時系列的に就任順に並べたものとして正しいのはどれか。

① アイゼンハワー→トルーマン→ニクソン→ジョンソン
② アイゼンハワー→トルーマン→ジョンソン→ケネディ
③ トルーマン→アイゼンハワー→ジョンソン→ニクソン
④ トルーマン→アイゼンハワー→ニクソン→ケネディ

5 西ドイツを奇跡的に復興させた首相はだれか。

① キッシンジャー ② アデナウアー
③ ド＝ゴール ④ ブラント

6 西ドイツのブラント首相に関連するのはどれか。

① アポロ計画　② ウォーターゲート事件
③ 雪どけ　④ 緊張緩和〔デタント〕

7 次のうち，日本的経営に**あてはまらない**のはどれか。

① 年功序列型賃金　② 労資協調
③ 職業別労働組合　④ 終身雇用制

8 1960年に発足した石油輸出国機構の略称はどれか。

① OPEC　② OAPEC
③ NIEO　④ UNDP

9 「援助より貿易を」というスローガンと最も関係があるのはどれか。

① UNDP　② UNCTAD
③ OAPEC　④ NIEO

10 アジア NIES の組み合わせとして正しいのはどれか。

① 韓国・香港・シンガポール　② 韓国・台湾・マレーシア
③ 香港・台湾・タイ　④ 香港・台湾・フィリピン

第14講　PART1　確認問題 解答

1 解答：③　トルーマン大統領は，東西冷戦が開始されたときの大統領でもある。

①：ベトナム戦争を本格化させた大統領。
②：アポロ計画を中心とする宇宙開発競争を展開した大統領。
④：ソ連との「雪どけ」を現出した大統領。

2 解答：①　ケネディ大統領は，アポロ計画を中心とする宇宙開発競争を展開した。

②：アイゼンハワー大統領などと関連がある。
③：ニクソン大統領と関連がある。
④：ジョンソン大統領と関連がある。

3 解答：②　ジョンソン大統領は，トンキン湾事件を口実にベトナム戦争を本格化させた。

①：ドル＝ショックを招いた大統領。
③：ソ連との「雪どけ」を現出した大統領。
④：アポロ計画を中心とする宇宙開発競争を展開した大統領。

4 解答：③　トルーマン→アイゼンハワー（→ケネディ）→ジョンソン→ニクソンの順。

5 解答：②

アデナウアー首相は，フランスとの関係修復にも尽力した。

①：ドル＝ショックが起こった際のアメリカ大統領補佐官。
③：対米独自外交を展開したフランス大統領。
④：「東方外交」を展開し，「緊張緩和〔デタント〕」を導いた西ドイツの首相。

6 解答：④

ブラント首相は「東方外交」を展開し,「緊張緩和〔デタント〕」を導いた。

①：アメリカ合衆国のケネディ大統領と関連がある。
②：アメリカ合衆国のニクソン大統領と関連がある。
③：アメリカ合衆国のアイゼンハワー大統領と関連がある。

7 解答：③

日本では，終身雇用制・年功序列型賃金・企業別労働組合による労資協調という日本的経営が確立された。

③：企業別労働組合が正しい。

8 解答：①

石油輸出国機構〔ＯＰＥＣ〕は 1973 年の第四次中東戦争の際には，原油価格の大幅引き上げを行い，第一次オイル＝ショック〔石油危機〕をもたらした。

②：アラブ石油輸出国機構の略称。
③：新国際経済秩序の略称。
④：国連開発計画の略称。

9 **解答：②**

国連貿易開発会議〔UNCTAD〕は途上国側の要求により 1964 年に設立された。

①：国連開発計画の略称。
③：アラブ石油輸出国機構の略称。
④：新国際経済秩序の略称。

10 **解答：①**

アジア NIES〔新興工業経済地域〕は，韓国・台湾・香港・シンガポールの４カ国・地域。